

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和元年12月4日（水）
- 2 確認箇所
1 / 2号機共用排気筒（1 / 2号機開閉所前等から確認）
- 3 確認項目
1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況
- 4 確認結果の概要
昨日（12月3日）に引き続き、4ブロック目の人力での排気筒切断作業の状況を確認した。
 - ・現場確認時（8時50分頃）には、搭乗設備が解体装置に接続されており、作業員3名が筒身切断作業（切断箇所：南西側50mm×2箇所、北東側：100mm×1箇所）の準備を行っていた。（写真1）
東京電力によると、7時55分頃より搭乗設備の吊り上げを開始し、8時36分頃に解体装置への設置を完了したとのことであった。
 - ・9時4分頃から、作業員によるグラインダーを使用した筒身切断作業が開始されて、9時28分頃に南西側2箇所の切断が終了し、10時17分頃に北東側の切断が終了した。これにより、4ブロック目の筒身切断が完了した。
切断作業は、昇降用ロープをダブルアンカーにて設置するとともに2重化する、作業時の横ブレ防止用磁石を使用し安定性を確保するなどの安全対策を講じて実施され、特段のトラブルなく完了した。
(写真1-2、写真2)
また、切断作業中、構内にある敷地境界付近のモニタリングポスト及び県が設置している発電所周辺のモニタリングポストにおける空気中の放射性物質濃度に異常な値は確認されなかった。
 - ・筒身切断完了後、12時31分頃に4ブロック目の吊り下しが開始され、特段のトラブルなく、13時12分頃に2号機原子炉建屋西側ヤードに吊り下された。（写真3）
 - ・東京電力によると、今後、1～4ブロック目の解体作業の検証を行い、施工計画と工程を見直す予定とのことであった。



(写真 1 - 1)
 搭載設備の設置状況と準備作業の状況



(写真 1 - 2)



(写真 2 - 1)
 グラインダーによる筒身切断状況①
 (南西側 2 箇所目)



(写真 2 - 2)
 グラインダーによる筒身切断状況②
 (北東側)



(写真3-1)
4ブロック目の吊り下し状況



(写真3-2)
地上の架台に下ろされた解体装置
と4ブロック目の状況



(写真3-3)
4ブロック目解体後の筒頂部の状
況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。